

## 英語科シラバス

### 1. 英語で身につけたい力

英語の授業では、主に話している内容を聞く (Listening)、英語の文章を読む (Reading)、英語の単語や文章を書く (Writing)、人と簡単な英語の表現を使って話をする (Speaking やりとり) 自ら考えた事柄や調べた物事についてスピーチをすること (Speaking 発表) の 4 つのこと (5 つの領域) を中心に行っていきます。実際に学習した表現や単語を使って ALT の先生や友達と話すことで、英語の言い回しを覚え、少しでも国際語である英語に親しんでほしいと思います。

### 2. 学習の進め方

①授業に集中して、学習に取り組みましょう。

時間を守る、英語の歌を大きな声で歌う、話をよく聞く、おしゃべりをしない、忘れ物をしない。

②授業では教科書を中心に進めます。教科書で出てきた、単語や大事な表現、連語、熟語などは口に出して何回も練習しましょう。

③黒板に書かれた内容は、しっかりノートに取りましょう。なお、授業の前に家で行う **予習**、授業後、学校で習ったことを家庭でもう一度確認する **復習** はしっかりとおこなっていきましょう。

### 3 評価について

評価については、以下の 3 つの観点別学習状況を評価し、定期テストやパフォーマンステストの結果、その他の事項を総合的に判断し、評価を行います。

#### (1) 知識・技能

音声や語彙、表現、文法、言語の働きを理解すること。英語の知識を書くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。

#### (2) 思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題、自分自身について、習ったことを使って、表現したり伝えあったりする。

#### (3) 主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする姿勢。授業への取り組み、コミュニケーションへの関心、自ら学ぶ姿勢、発表、コミュニケーション活動、宿題、ワークブック等の取り組み、予習復習の取り組み状況等

1年 英語 学習予定

月	題材	文法事項
4	<u>Get Ready</u> アルファベットを確かめよう	like / can / want to ~ / when, where の疑問文など アルファベットの形と発音
5	辞書を引いてみよう <u>友だちを作ろう</u> 数の言い方 <u>1-Bの生徒たち</u>	辞書の引き方 be 動詞 (肯定・否定・疑問) / where の疑問文 数字, 年齢, 電話番号, 値段 一般動詞 (肯定・否定・疑問) / 複数形 / when の疑問文
6	曜日と天気の違い 英語でやりとりしよう① <u>アクションコーナー</u> <u>タレントショーを開こう</u>	曜日の歌, Sunday ~ Saturday Are you ~? / Do you ~? / when, where の疑問文 命令文 can (肯定・否定・疑問) / what の疑問文
7	考えを整理し, 表現しよう <u>あなたの知らない私</u> 自己紹介 ハンバーガーショップへ行こう <u>Let's Enjoy Japanese Culture.</u> 持ち主をたずねよう	マッピングの使用 (これまでの復習) Can I have ~? / How much ~? This is ~. That is ~. (肯定・否定・疑問) / 代名詞 / who の疑問文 Which ~? / Whose ~?
9	<u>The Junior Safety Patrol</u> 季節・月の名前	三人称・単数・現在 (肯定・否定・疑問) 春夏秋冬, January ~ December
10	<u>The Way to School</u> 道案内をしよう① (駅ビル) 店内放送を聞こう 順番・日付の言い方	him, her / why の疑問文, Because ~. Where is ~? / Turn right, and ~. など 放送を聞いて, 商品の特長を聞き取る 序数
11	<u>Research on Australia</u> 話の組み立て方を考えよう 英語でやりとりしよう② 疑問詞のまとめ	There is [are] ~. / how の疑問文 スピーチの構成 Is this [that / he / she] ~? / Does he [she] ~? など 5W1H を使った疑問文
12	<u>この人を知っていますか</u> 他人紹介 インタビューを聞こう <u>The Year-End Events</u> 絵や写真を英語で表現しよう	(これまでの復習) ドラえもんへのインタビューを聞き取る。 現在進行形 (肯定・否定・疑問) インフォメーションギャップ
1	<u>A Trip to Finland</u>	一般動詞の過去形 (肯定・疑問・否定)
2	文の内容を整理し, 表現しよう <u>Grandma Baba's Warming Ideas!</u> 英語でやりとりしよう③	PROGRAM 9 の内容を図表で整理する。 be 動詞の過去形 / 過去進行形 (肯定・疑問・否定) Are [Were] you (watching) ~? / Did you ~? など
3	<u>私が選んだ 1 枚</u> picture description 絵はがきを書こう	(これまでの復習) 手紙の書き方

2年 学習予定

月	単元	文法事項・表現
4	<p>辞書を読んでみよう  <u>Start of a New School Year</u>                      情報をつなげながらメモをとろう</p>	未来表現 / 接続詞 when / if 対話 `` 予定や計画を言える。 対話 `` これからすることを言える。 メール文 `` ~のとき…。 / もし~ならば…。
5	<p><u>Leave Only Footprints</u>                      天気予報を聞こう                      電話をかけよう                      スープの材</p>	接続詞 that / must / have [has] to
6	<p><u>Taste of Culture</u>                      文章の構成を考えよう</p>	to+動詞の原形〉 (不定詞) / 〈動詞の-ing 形〉 (動名詞)
7	<p><u>Gon, the Little Fox</u>                      いろいろな形容詞</p>	Reading (復習)
9	<p><u>High-Tech Nature</u></p>	比較級 / 最上級 / as~as…
10	<p><u>Work Experience</u></p>	how to ~ / 〈look+形容詞〉 〈become+名詞 [形容詞]〉 / 〈主語+動詞+人+もの〉
11	<p><u>Live Life in True Harmony</u></p>	受け身
12	<p><u>Friendship beyond Time and Borders</u>                      いろいろな前置詞</p>	Reading (復習) 位置を示す前置詞
1	<p><u>A Gateway to Japan</u></p>	現在完了 (完了, 経験)
2	<p><u>A Hope for Lasting Peace</u></p>	現在完了 (継続) / 現在完了進行形
3	<p>この1年で得た「宝もの」</p>	◆既習事項の総復習

## 英語科シラバス

### 1. 英語で身につけたい力

英語の授業では、主に話している内容を聞く (Listening)、英語の文章を読む (Reading)、英語の単語や文章を書く (Writing)、人と簡単な英語の表現を使って話をする (Speaking やりとり) 自ら考えた事柄や調べた物事についてスピーチをすること (Speaking 発表) の 4 つのこと (5 つの領域) を中心に行っていきます。実際に学習した表現や単語を使って ALT の先生や友達と話すことで、英語の言い回しを覚え、少しでも国際語である英語に親しんでほしいと思います。

### 2. 学習の進め方

①授業に集中して、学習に取り組みましょう。

時間を守る、英語の歌を大きな声で歌う、話をよく聞く、おしゃべりをしない、忘れ物をしない。

②授業では教科書を中心に進めます。教科書で出てきた、単語や大事な表現、連語、熟語などは口に出して何回も練習しましょう。

③黒板に書かれた内容は、しっかりノートに取りましょう。なお、授業の前に家で行う**予習**、授業後、学校で習ったことを家庭でもう一度確認する**復習**はしっかりとおこなっていきましょう。

### 3 評価について

評価については、以下の3つの観点別学習状況の評価し、定期テストやパフォーマンステストの結果、その他の事項を総合的に判断し、評価を行います。

#### (1) 知識・技能

音声や語彙、表現、文法、言語の働きを理解すること。英語の知識を書くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につける。

#### (2) 思考・判断・表現

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題、自分自身について、習ったことを使って、表現したり伝えあったりする。

#### (3) 主体的に学習に取り組む態度

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする姿勢。授業への取り組み、コミュニケーションへの関心、自ら学ぶ姿勢、発表、コミュニケーション活動、宿題、ワークブック等の取り組み、予習復習の取り組み状況等